

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は前年を下回る動きとなっている。個人消費は持ち直している。住宅投資は減少基調にある。この間、生産は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は持ち直している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

3月の公共工事請負金額は、前年を下回った。国、県、市町村のいずれも発注が減少した。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
山形県	10.8	▲37.8	69.5	86.1	89.9	▲21.8

〈資料〉東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・前年を下回る動きとなっている

3月短観における2023年度の設備投資計画をみると、製造業は減少計画、非製造業は増加計画に転じ、全体では前年を下回る計画となっている。

この間、2月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業などが増加したため、前年を上回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額（2023年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2021年度(実績)	2022年度(計画)	2023年度(計画)
全産業	62.4	▲17.7< 6.5>	▲11.6
製造業	7.2	98.7< 7.9>	▲25.6
非製造業	101.7	▲61.6< 4.0>	15.6

〈資料〉日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2022年 3月	6月	9月	2022年 12月	2023年 1月	2月
山形県	17.3	528.8	▲60.3	▲44.8	▲68.2	63.7

〈資料〉国土交通省

(3) 個人消費・・・感染症の影響が和らぐもとで、持ち直している

2月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、6か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアは、12か月連続で前年を上回ったほか、ドラッグストアは、23か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2022年 4～6月	7～9月	10～12月	2022年 12月	2023年 1月	2月
全店	▲2.2	▲1.0	2.2	3.3	1.4	2.1
既存店	▲1.2	▲0.1	1.7	2.5	0.4	0.2

＜資料＞経済産業省

3月の乗用車新車新規登録・届出台数は、7か月連続で前年を上回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
乗用車 合計	▲4.0	33.1	0.7	21.0	18.4	22.1
普通車	▲5.6	24.8	▲3.5	36.7	33.5	40.7
小型車	▲12.7	35.0	▲17.0	▲10.8	10.2	4.0
軽四輪	4.8	38.8	18.5	34.3	12.5	22.0

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に持ち直しの動きが進んでいる。

(4) 住宅投資・・・減少基調にある

2月の新設住宅着工戸数は、持家が増加したものの、分譲、貸家が減少したため、前年を下回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2022年 3月	6月	9月	2022年 12月	2023年 1月	2月
山形県	▲39.5	▲24.2	▲26.1	6.6	▲1.9	▲25.5
持家	▲29.8	▲16.3	▲15.0	▲14.9	▲1.4	11.2
貸家	▲77.7	▲23.3	▲39.8	8.5	▲3.8	▲54.9
分譲	▲11.8	▲47.1	▲40.0	69.6	0.0	▲16.7

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

1月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別には、情報通信機械、木材・木製品など10業種で上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、輸送機械など12業種で低下した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

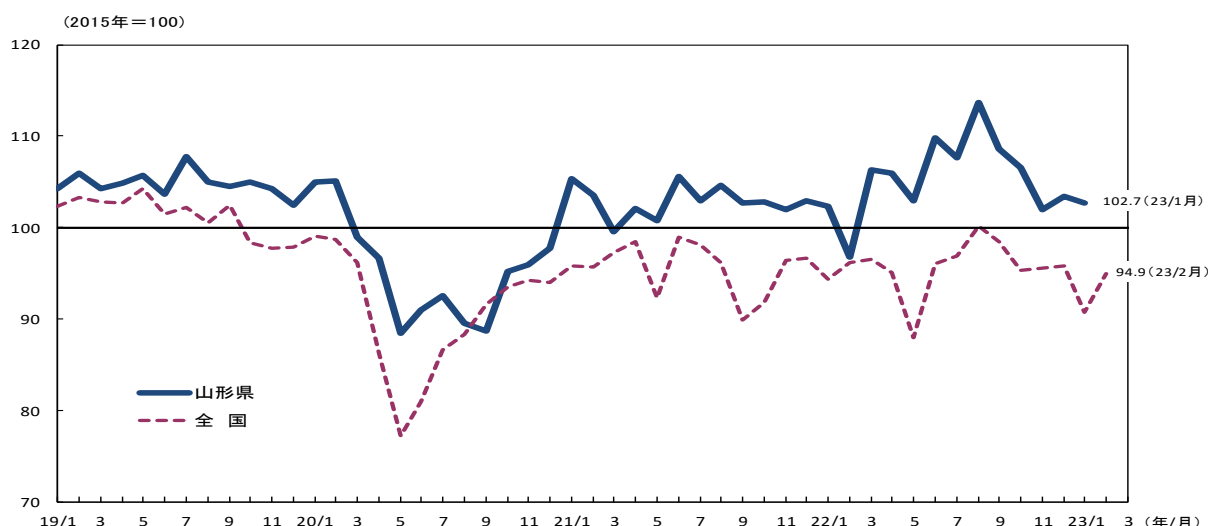
（図表7）鉱工業指数

2015年基準

山形県		2022年 3月	6月	9月	2022年 11月	12月	2023年 1月
生 産	季節調整済前月比%	9.8	6.7	▲4.5	▲4.2	1.4	p ▲0.7
	原指数前年比%	5.3	4.0	5.8	▲0.1	▲1.1	p 0.5
在 庫	季節調整済前月比%	▲1.1	10.6	5.0	▲3.9	▲3.3	p ▲4.1
	原指数前年比%	31.2	20.6	31.7	27.3	19.6	p 15.7

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・持ち直している

2月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.52倍となった。業種別の新規求人数をみると、医療・福祉、卸・小売、宿泊・飲食サービスなどで増加した。雇用保険受給者は、前年を下回った。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2022年 4～6月	7～9月	10～12月	2022年 12月	2023年 1月	2月
有効求人倍率	1.52	1.61	1.67	1.67	1.61	1.52
完全失業率	2.0	2.1	1.9	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲21.6〉	〈▲5.4〉	〈▲6.7〉	〈▲6.7〉	〈▲4.8〉	〈▲3.2〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率、雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

1月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年並みとなった。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2022年 3月	6月	9月	2022年 11月	12月	2023年 1月
常用雇用指数	0.8	1.8	2.3	2.1	1.7	2.2
所定外労働時間	12.1	13.3	11.4	8.1	0.5	0.0

<資料>山形県

1月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与は、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2022年 3月	6月	9月	2022年 11月	12月	2023年 1月
現金給与総額 (名目賃金指数)	4.2	5.2	3.4	6.2	6.4	2.6
きまって支給 する給与	3.6	3.8	4.1	4.0	3.3	3.1

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・前年を下回った

3月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は 3 件、負債総額は 0.8 億円となった(前年同月は 9 件、15.6 億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
件数	2	2	4	1	4	3
負債総額	1.6	2.4	1.9	0.8	95.6	0.8

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

2月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、食料品などの価格上昇から前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020 年基準、前年比、%

山形市	2022年 3月	6月	9月	2022年 12月	2023年 1月	2月
総合	0.9	2.7	3.2	3.9	4.1	3.6
生鮮食品を除く総合	0.5	2.4	3.1	3.8	3.9	3.4

<資料>山形県

7. 金融

2月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った。この間、貸出金利は低下した。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山形県	2022年 3月	6月	9月	2022年 12月	2023年 1月	2月
実質預金+CD (末残前年比)	3.1	2.5	1.8	0.8	1.0	1.5
貸出金 (末残前年比)	▲0.6	1.1	1.3	2.0	2.6	3.0

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山形県	2022年 4~6月	7~9月	10~12月	2022年 12月	2023年 1月	2月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.014	▲0.022	▲0.008	▲0.005	0.009	▲0.007

2月末水準
0.881%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

<p>(内容に関するお問い合わせ先) 日本銀行山形事務所 TEL: 023-622-4004</p>
